津田塾大学大学院　文学研究科
英語教育実践研究(千駄ヶ谷キャンパス)

「インターネット通学制度」

津田塾大学大学院文学研究科では、長年、教員としての経験を持つ多くの卒業生の方からご要望のありました、遠隔地に在住しながら修士課程に在籍し、インターネットを活用することにより修士号を取得できる制度を、2019 年度より開設しました。

この制度は、月曜日・金曜日の夜や土曜日の午後および夜に開講する授業に、リアルタイムで自宅や職場等からインターネットを用いたアプリケーションを通じて参加していただき、指導の先生や通学生とともに授業に出席することができる制度です。千駄ヶ谷キャンパスで開講する英語教育実践研究の科目のほとんどは、このインターネット通学で履修することが可能です。

遠隔の受講生は、コンピュータと安定したネット環境さえあれば、他に必要なものはありません。また、このインターネットを通じた授業参加では、遠隔からでも個人発表や発言ができ、授業内でのディスカッション、板書の共有、ハンドアウトの提示など、通常の教室と同様の活動を行うことが可能です。

ただし、この制度は、Web 会議システム(Zoom)を利用したオンライン授業を導入した授業であり、通信教育課程とは異なります。教師や他の院生との時間をできるだけ持っていただくために、一部、下記の通り、通学が必要になります。

通常の在籍者とインターネット通学者との差異

通常の在籍者とインターネット通学者共通の必須要件	インターネット通学者のみの必須要件
・ 修了までに最低32単位履修 ・ 必修科目および選択科目の履修 ・ 入学試験(千駄ヶ谷キャンパス) ・ 修了年次にアクションリサーチ報告論文/アクションリサーチ教材開発研究論文の提出および口述試験の受験	・ 夏と冬の集中講座を履修する場合は、各1日以上千駄ヶ谷キャンパスで授業に参加する(※1) ・ 前期と後期に各2回以上、千駄ヶ谷キャンパスで授業に参加する

※1 の必須要件については、夏と冬の集中講座が対面実施される場合。

問い合わせ窓口:　津田塾大学　文学研究科英語教育実践研究担当
e-info@tsuda.ac.jp